

七月読みとりおけいこ（中）①

名前（

ぎおんまつりが始まりましたね。

そもそもこのおまつりは千年以上もまえに六十六本のほこ（日本国内の国の数）をたてたのがはじまりです。このころは大じしんもあり、富士山がふん火し、うえじにする人も多く・・・とたいへんなことになっていたのです。

そこで人々はとりあえずつゆの大雨を止ませてほしいとねがいました。鴨川^{かもがわ}などがあふれるとぼつとん便所の中があふれ出て、井戸水とまざります。そんな水を飲むとおなかをこわします。伝せん病もはやりますが、むかしは病院もないのでそのままたくさんの死者が出ます。何万人も亡くなるわけです。もちろんこう水で流される人や、家を失う人もいたでしょうね。今のようなしっかりしたていぼうはありませんから。

むかしの人は雨をふらせたり止ませたりするのはりゅうじんさま（ドラゴンボールのシェンロンみたいなもの）だと思っていました。りゅうじんさまの大こうぶつが馬だとも思っていました。

そこで、古代、雨を止ませてほしいときには生きた馬をいけにえにして川に放り込んでいたのです。

そのなごりがぎおんまつりにもこのつています。馬の板をぶら下げた「こまがたちこ」というおちごさんが久世の神社からやってきてこそぎおんまつりがはじまるのです。

この神社の氏子さんの多くはみょう字が川勝さんといいます。秦河勝^{はたのかわかつ}の子孫といわれる方々です。秦氏^{はたし}は水をコントロールするのがうまい人たちで、あらし山に大きな堰^{せき}を設けたことでも知られています。それで渡月橋^{とげつきょう}あたりを保津川と桂川の間のぶぶんを大堰川^{おおいがわ}というのです。

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

（ ）のはじまり

② ギおんまつりのはじまりは何というものをたてたことですか？

（ ）

③ この時代日本国内にいくつの国がありましたか？

（ ）

④ このころにふん火していた山は何ですか？

（ ）

⑤ 千年前にはなかったものはどれですか？

（ ）井戸（ ）便所（ ）浄水場

⑥ むかしの人は雨をだれがふらせると思っていましたか？

（ ）

⑦ ⑥の大こうぶつは何だと思われていましたか？

（ ）

⑧ 馬の板をぶら下げたおちごさんをなんといいますか？

（ ）

⑨ あっているものに○をつけましょう。

（ ）りゅうじんさまはお便所のかみさまだ。

（ ）りゅうじんさまはほんとうにいる。

（ ）りゅうじんさまとシェンロンはにている。

⑩ 上の話のかんそうを五行でまとめましょう。

できばえは？

